

令和元年12月13日

指定管理者の指定について（練馬区立石神井図書館）

1 内容

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立石神井図書館の指定管理者をつぎのとおり指定する。

2 指定管理者

東京都文京区大塚三丁目1番1号
株式会社 図書館流通センター
代表取締役 細川博史

3 指定の期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）

4 選定の経過

平成31年4月17日	第1回指定管理者選定小委員会 （業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議）
令和元年5月21日	令和元年度第1回指定管理者選定委員会 （業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議結果の報告）
6月20日	令和元年第二回練馬区議会定例会 （練馬区立図書館条例改正案議決）
7月10日	第2回指定管理者選定小委員会 （募集要項の審議）
8月1日	ねりま区報および練馬区ホームページで公募、募集要項配布開始
8月22日	募集説明会（参加団体数8）

8月29日～9月4日	応募書類受付（応募団体数3）
9月5日	経営診断委託
10月6日	第3回指定管理者選定小委員会 （プレゼンテーションおよびヒアリングの実施） （応募団体の評価、採点）
10月31日	令和元年度第2回指定管理者選定委員会 （応募団体の審査、指定管理者候補の決定）
12月13日	令和元年第四回練馬区議会定例会 （指定管理者指定議案議決）

5 選定の理由

選定に当たっては、応募団体の企画書、プレゼンテーションの内容、経営診断結果その他提出書類等をもとに評価した結果、全国で多数の公立図書館の運営実績を有しており、安定的な施設運営が期待できること、また、利用者ニーズや地域特性を踏まえた具体的な事業提案があり、石神井図書館の特徴を生かした積極的な事業展開が期待できること等の理由により、株式会社図書館流通センターが練馬区立石神井図書館を運営するにふさわしいと判断した。評価項目ごとの評価内容（主な提案の内容、評価した点等）はつぎのとおりである。（審査結果は、別表のとおり）

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者委員を加えて評価を行った。

安定性・継続性

利益を上げる力および事業効率性については平均的であるが、資金力が十分にあり、自己資本比率は平均より高く、全体として良好な経営状態である。

組織体制

個人情報保護、情報セキュリティおよび情報公開に関する規程を整備し、適正に運用している。また、個人情報の取扱いに関するチェックリストの活用や、社内監査チームによる個人情報監査を年1回実施するなど、個人情報の保護に積極的に取り組んでいる。

労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。また、子育て支援制度の整備や社内相談窓口の設置など、働きやすい職場環境づくりに努め

ており、評価できる。

団体の施設運営実績

石神井図書館と同規模施設の運営実績に加え、公立図書館の指定管理者として全国で多数の運営実績があり、図書館の運営を円滑に行う能力と実績を十分に有している。練馬区内においては、平成 21 年度から南田中図書館、平成 24 年度から大泉図書館および貫井図書館、平成 29 年度から関町図書館の指定管理者として施設の管理・運営を円滑に行っており、各館のモニタリングの結果も良好である。

区内事業者か否か

区内事業者ではない。

施設運営体制

図書館を「人類の英知を未来へと生かす知識と情報の宝庫」と考え、住民や地域が抱える課題解決の手伝いや、区民と協働する地域に根差した図書館サービスを展開するという基本的な考え方にに基づき、これまで石神井図書館で実施してきた福祉施設等への出張サービスや地域の団体・施設と連携して行う事業等を継承していく提案がある。

また、石神井地域の豊かな自然、歴史、文化の特徴を踏まえた上で、「歴史が息づく豊かな風土のもと 地域の多様な情報や住民が交わり 新しい出会いが生まれる図書館」といった新たなコンセプトを掲げ、サービス向上のために、これまで窓口等業務受託事業者として培ってきたノウハウと、職員と地域とのつながりをさらに生かしていく提案があり、特に評価できる。

意見箱や利用者アンケートを分析し、サービスの向上に活用するほか、利用者懇談会で地域住民や地域施設からの意見を収集し、ニーズに合わせたサービスの提供を目指す提案がある。

前述の、サービス水準の維持および向上に向けた取組や利用者ニーズの把握のための取組を支える職員の育成体制として、カウンター業務における接遇スキル、レファレンス業務等、図書館専門業者である強みを生かした図書館業務に特化した研修のほか、入社時研修から館長養成研修まで、段階的な研修メニューとともに、テーマ別のスキルアップ研修を設けており、特に評価できる。

利用者等への対応

利用者への公平公正な対応として、助聴器等のコミュニケーション支援用具の設置、

認知症サポーター養成講座の実施や不登校の子どもたちの居場所づくりの取組を提案しているほか、全スタッフの育成計画に障害者サービスや人権研修を盛り込む提案がある。

また、トラブルの未然防止、苦情への対応については、苦情発生から解決までの体制を整備するとともに、ロールプレイングを取り入れた実践的な接遇研修、危機管理研修等の実施により、スタッフが適切に判断し行動できる体制づくりに努めており、評価できる。

施設の維持管理・安全性への配慮

毎日の館内の巡回時に、目視点検を行うほか、施設管理委託業者と施設の不具合や今後のメンテナンスについて検討する施設管理定例会および点検巡回を月1回実施し、施設の安全性への配慮に努めている。

また、災害、事故、犯罪行為等の事案別に対応フローをマニュアルに定め、全スタッフで共有し、緊急時等の危機管理体制を整えているほか、区への連絡体制も整備しており、評価できる。

効率的な管理運営

提案金額は応募団体の中で最も高いが、施設規模が大きく、蔵書数も多い石神井図書館の現状の運営体制に近い人員配置計画となっており、同規模館の体制と比較しても現実的な提案である。また、これまで、全国での公立図書館運営実績で培ったノウハウを活用したスタッフのマルチスキル化や光熱水費の適切な使用などにより、施設の効率的な管理運営が期待できる。

館長候補については、現在、他区の中央図書館で副館長として館の運営や調整等に携わっており、図書館業務経験が豊富な人材を予定している。

さらに、司書等資格の取得率については、65パーセント以上と高い目標を掲げるとともに、それを実現する司書等資格取得のための支援制度を整備している点が、評価できる。

施設特性に応じた評価項目

図書館資料収集・廃棄候補の抽出は、週1回、一般書・児童書・地域資料・視聴覚資料の担当グループごとに行うとし、地域の学校への訪問事業、地域ボランティアやカウンター業務における利用者とのコミュニケーションからニーズを把握する提案がある。

石神井図書館で実施している「ふるさと紙芝居」や「しゃくじい読書活動ノート」などの事業について、紙芝居の内容にゆかりのある地域の街歩きの実施や、これまで「図書館を使った調べる学習コンクール」で培ってきた子どもへの育成支援のノウハウを「しゃくじい読書活動ノート」制作に生かすなど、事業を継続しつつさらに発展させていくという具体的な提案があり、特に評価できる。

また、新たな提案として、地域の豊かな緑や樹木にふれあう事業を関係機関と連携して実施するほか、石神井ゆかりの文化人に関連する図書等を展示する「石神井文化コーナー」の創設、休憩コーナーのリノベーションや子育て応援サービスとして託児サービスを行うなど、館、地域や利用者の特性を的確にとらえ、積極的な事業展開により利用促進につなげるための提案も、高く評価できる。

地域への貢献

職員採用については、区民雇用の促進に努めることとし、区民雇用率については、65パーセント以上を目標としている。また、業務の再委託や施設の修繕および物品の調達については、区内事業者を積極的に活用するとしている。

地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携について、新たな取組として、開館50周年を記念して地域の音楽団体を招いての演奏会、石神井を拠点とするスポーツチームや地域の商店と連携した事業等を行う提案がある。また、ボランティアと協働して行うおはなし会や出張訪問等の事業は継承していくとともに、さらなる連携を進めるためにボランティア意見交換会を実施するなど、地域との関わりを深め、図書館の利用促進につながる提案があり、評価できる。

指定管理者選定の審査結果（練馬区立石神井図書館）

	評価項目	評価基準	配点	得点
団 体 審 査	1 安定性・継続性	利益を上げる力の有無 事業効率の状況 資金力の有無 借入金の返済能力の有無 経営の安全性	5点	4点
	2 組織体制	個人情報保護および情報セキュリティ確保のための取組 情報公開の取組 法令等の遵守（労働関係法令の遵守を含む。）に対する団体の取組	5点	4点
	3 団体の施設運営実績	石神井図書館と同規模施設の運営実績 現在、運営している施設の状況および施設での取組内容・取組の成果 過去のトラブルへの対応状況	10点	8点
	4 区内事業者か否か	区内事業者である、または構成員に区内事業者が含まれる	10点	0点
提 案 審 査	5 施設運営体制	施設の設置目的・現状を踏まえた管理・運営の基本的な考え方 現在のサービス水準の維持および向上のための提案内容 利用者ニーズの把握とニーズを反映させるための取組 職員に対する教育、研修体制	25点	25点
	6 利用者等への対応	利用者への公平公正な対応 利用者等の人権の配慮 苦情解決体制 職員の接遇に関する取組	25点	20点
	7 施設の維持管理・安全性への配慮	日常的な点検体制 災害その他緊急時の危機管理体制 管理上の不具合や問題の区への報告体制	30点	24点
	8 効率的な管理運営	効率的・効果的な人員配置 再委託の範囲の妥当性 事業計画と収支計画の妥当性 その他効率的・効果的な施設運営に係る提案 提案金額の妥当性	30点	24点
	9 施設特性に応じた評価項目	館、地域や利用者の特性に応じた事業の提案内容 図書館事業の利用促進につながる提案内容 図書館資料の管理に関する提案内容	30点	30点
	10 地域への貢献	区民雇用の促進（非常勤・臨時職員を含む。） 再委託における区内事業者の活用・物品の区内事業者からの調達 地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携の推進	30点	24点
合 計			200点	163点